

三郷市立北中学校

音楽

題材名「詩や曲の背景を理解し、そこに込められた
思いを生かして歌おう」～マインドマップの活用による「主体的・対話的で深い学び」～ 第3学年



足を向けたくなる音楽室前

生徒の表現を引き出す指導

心情を可視化し、思考を広げるマインドマップの活用

参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

【マインドマップの活用について】

- マインドマップを活用し、合唱がここまで深まるということを実感できました。
- 混声合唱の指導において、新しいアプローチの方法を提案していただき、大変参考になりました。
- 曲の理解や生徒の思いを目に見える形にできるのは、とても良いと思いました。
- 生徒の思考の広がりが感じられ、一人一人の思いが文字として残り、それが音楽になっていくということがよくわかりました。
- 生徒の楽曲理解や表現意欲、自主的な活動に非常に有効だということがわかり、実践してみようと思いました。
- マインドマップは、表現の創意工夫と鑑賞の能力の向上が相互に結び付くとも思いました。鑑賞での気付きも増えると思います。

【発問の工夫について】

- 「発問を吟味し、発問計画を立てている」と授業者反省で伺いましたが、本時のねらいを達成するために、必要なことだと再認識しました。
- パートリーダーの育成については、教師の発問、言葉かけの大切さを改めて実感しました。



めあての確認

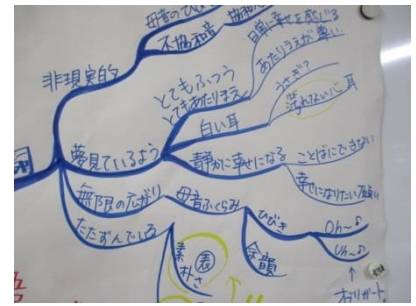
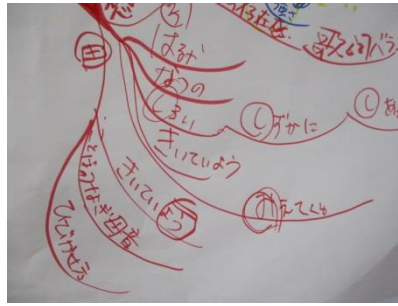
聞き手に詩情を伝えるために、「語感」を表現する方法を考えて歌おう



パートリーダーはパート練習の内容を確認



生徒の考えを引き出す発問



生徒が心情と向き合うためのマインドマップ

ねらい：詩情を伝えるための表現の工夫を考えて歌う

幹：「歌詞の内容のとらえ」「正しい音程が生み出すハーモニ」「語感を生かす」「和音進行」
 本時は「語感を生かす」→生徒は子音に着目→どう歌えば語感が生きて、詩情が伝わるか試す

【授業全般について】

- 教員経験が浅いので、授業者の発問内容・表情・要点を伝えるテンポ感等、全てが自分の心を揺さぶるものばかりでした。
- タブレット・マインドマップ共に、主体的・対話的で深い学びを実現する上で非常に活用しやすく、効果的であることがわかりました。

【研究協議から】

- ベテランの先生とお話しできたことがとても勉強になりました。同じ授業を見て、見方が違うことを改めて感じました。
- 小学校の先生達と協議をする中で、小学校の音楽授業の現状などを聞くことができ、参考になりました。
- 普段、お会いすることのない地域の先生と意見交換することができ、大変有意義でした。
- 共感できるポイント、違ったとらえ方など、幅広い協議ができました。
- “小中連携”何をすればよいのだろうと考えていましたが、実際に異校種の先生と協議し、明確に見えてきたところがありました。



タブレット、掲示など
 パート練習を主体的に行うための道具



技能を高めるために、
 パート練習であっても教師が生徒と対話し、積極的に指導する

グループ協議でまとめた授業分析表

